

一般質問

撮影 平野 貞雄



初夏の鳴尾御影線・打出

6月定例会では、6月18日、19日、20日に渡り、16人の議員が延べ39項目の内容について一般質問を行いました。

一般質問の内容の一部を紹介します。
質問の様子はホームページでご覧いただけます。

HPアドレス <http://gikai.gikai-tv.jp/dvl-ashiya/2.html>

市指定のごみ袋を早期導入し、ごみの減量化を

イーブンあしや

畑中 俊彦

本市のごみ削減の施策であるごみの分別収集には一定の評価をするが、神戸市では、さらに踏み込み、市指定のごみ袋を市民に購入してもらうことによる分別収集を導入し、大幅なごみの量の削減効果があったとのことである。本市でも市指定ごみ袋の早期導入を求めるが市長の見解を問う。

学童保育の課題と介護支援制度について

イーブンあしや

福井 美奈子

岩園小での学童保育の定員超過に対する改善予定を問う。介護サポーターポイント制度は、元気な高齢者が介護を手助けすることでポイントを得られる制度。市町村の裁量で実施が可能であるが、介護保険料や介護給付費の抑制、高齢者自身の介護予防が期待されるこの制度導入の是非を問う。

市 さらなるごみの減量化を進めるためには、市指定のごみ袋の導入は有効な方策の一つとして認識しているが、

本市はごみの出し方の違うパブリックイン地区があり、ごみ袋の統一が難しい。パブリックイン地区の課題や、すでに指定ごみ袋を導入している自治体での課題点を調査しながら研究していきたい。



西山幼稚園

市 岩園小学校には学童保育を二学級にする余裕がない。学級ベースの有効活用もしているが、本年度は一学級二班体制などソフト面の対応をしていく。介護サポーターポイント制度はすこやか長寿プランの策定委員会でも賛否さまざまな意見が出ており、今後各関係団体などの意見を聞きながら調査をしたい。

市職員の給与について
高齢者介護施設について

あしや新風会

徳重 光彦

給与適正化による抑制（削減）の具体的金額はどのくらいなのか。ラスパイレス指数の抑制は可能なのか。地域手当の見直しを近隣市並みに実施するよう求める。今後、開設予定の特別養護老人ホームの規模などはどうなっているのか。和風園への入居者受け入れの拡充を要望する。

南芦屋浜に郵便局・ATMの設置を求める

イーブンあしや

松木 義昭

南芦屋浜には郵便局やATMがない。市長は三月に日本郵便とゆうちょ銀行を訪れ、設置を要望されたが進展はあったのか。また潮芦屋に計画されているエスティック・スバの営業時間間が深夜に及ぶため、近隣住民から不安の声が高まっている。業者に対する指導はどつなっているのか。

市 給与制度適正化による削減見込み額は、五年間で四億千四百四十万円。ラスパイレス指数は組織などの見直しで抑制は可能である。地域手当は国の基準が基本と考

えている。開設予定の特別養護老人ホームは三施設あり、定員は各二十九名。和風園は現在、要介護者の受け入れに向けて協議中である。



西山幼稚園

市 南芦屋浜への郵便局ATMの設置については本年三月に日本郵便とゆうちょ銀行へ直接要望を伝えたがその後の進展はない。引き続き要望をしていく。
エスティック・スバの深夜営業については、規制できる条例などがないため行政が営業時間を規制することはできない状況である。



西山幼稚園

適正予算の充実で未来を
創る教育の街の実現を

公明党

帰山 和也

いじめや不登校など諸課

題に対処する中、教職員数は足りていないのか、教員の適正配置や補助が必要では。また就学前幼児教育の充実が生涯にわたる人格形成や基礎学力の定着、犯罪率低下などさまざまな分野で効果があるが、ご見解は。学校給食における食物アレルギーの現状と課題は。

市 教職員数は法定配置数以外に、特別支援教育の支援員などを市が独自に配置している。今後、専門家による支援についても研究していく。

幼児教育の推進は教育委員会の重要な役割である。給食におけるアレルギー対策は各学校で行っており、対象の子どもにより確実に届く仕組みを研究していく。

阪急芦屋川駅ガード下に
歩行弱者への安全施策を
創政クラブ

山村 悦三

芦屋川駅ガード下の南北道路は通勤通学の送迎や商品の納入など、長時間の路上駐車が多く、歩行者にとって大変危険な状況である。駅構内は階段があるため、車いすやベビーカーなどの利用者は通り抜けができない。ガードレールの取り付けや、駅構内の改造など安全策を施せないか。

市 芦屋川駅ガード下を通行する歩行者の安全確保のために、ガードレールを設置し歩道を確保することは車いすでの通行が難しいことや、その前後が車道と接するなど危険があると考えている。現在、芦屋川駅構内を南北に移動できるように駅南側のバリアフリー化について阪急電鉄と協議を行っている。

「車いすが行ける場所は誰でも通ることができる。障がい者専用のもではなく、誰もが使える」これが私の主張するバリアフリーである。本市内もバリアフリーが進んできたが、出来上がった施設や道路などに利用者でしか分からない不具合もある。今後は利用者にアドバイスとチェックを受けるよう求める。



西山幼稚園

バリアフリー推進、もっと
使いやすくするために

あしや新風会

長谷 基弘

「これまででも市内の福祉団体からアドバイスをいただき、施設整備に反映しており、今後も続けていきたい。県の「福祉のまちづくりチエ

ック&アドバイス制度」のような制度を市独自で導入することは考えていないが、今までの手法に加え補完的に県の制度を活用することなど検討をしたい。

阪神本線の立体交差化と
地下化の検討を求める

あしや新風会

寺前 尊文

阪神電鉄の鳴尾工区と魚崎芦屋間の高架化工事が完了すると、立体交差化が未完了のため幹線道路に踏切が残るのは本市だけとなる。市道稲荷山線と県道奥山精道線の踏切渋滞と事故リスクの解消は取り組むべき行政課題であり、阪神本線の立体交差化と、景観保全のため地下化の検討を提案する。

市 阪神本線の立体交差化が通行の安全性確保や周辺道路の渋滞解消などに有効な方策であることは認識しているが、財政状況などから実施のめどは立てられない。稲荷山線の渋滞解消については関係機関から工事による交通規制の影響が大きく、困難だと聞いているが、引き続き改善を要望していく。

「芦屋川を世界遺産にする」ための政策について

あしや新風会

いとう まい

「フランスのセーヌ川が

世界遺産ならば、芦屋川も世界遺産を目指したい。」という市長の大きく明るい目標設定を評価する。実現するために、電線類地中化計画と阪急芦屋川駅周辺整備を盛り込んだロードマップが必要であると考えているが、諸課題に対する具体的な対策を問う。

市 世界遺産候補となるためのハードルは非常に高いが本市の誇るべき景観と良好な住環境の整備をさらに推進していく。芦屋川兩岸の電線



西山幼稚園

地中化については第七次電線類地中化計画の事業計画承認に向けて県及び電線類管理者と協議を進める。芦屋川駅周辺整備の具体的な計画については今のところない。

市関連行事について
クリーン作戦について

イーブンあしや

青山 暁

事前予報で荒天と分かっていた今年のさくらまつりの当日朝の中止決定に関し市の危機管理体制は機能したのか。今後の市関連行事の開催基準などの見直しは。

長い歴史を誇る年二回開催のわがまちクリーン作戦をもっと広く周知するため若年層の呼び込み、ネット利用など改善を求める。

市 さくらまつり開催の判断は主催者側にあるが、市も天候などの情報を連絡し、すでに設置してあるテントなどの安全対策をお願いしていた。今回を教訓とし市内イベントの中止基準見直しを各主催者に求めていく。わがまちクリーン作戦は次回からプランを見直すという市として協力をしていく。

議会新体制紹介

議長・副議長などを選出

第二回定例会初日（六月七日）に議長、副議長をはじめ、議会役員の選出をしました。また各常任委員会や議会運営委員会の委員も選任し、議会の新体制が整いましたので紹介いたします。



田 直彦 市長
徳 議



中島かおり 副議長

○議長 徳田 直彦

○副議長 中島 かおり

○阪神水道企業団議会議員

畑中 俊彦

○監査委員（議会選出） 長谷 基弘

○議会運営委員会

委員長 長野 良三
副委員長 青山 暁
委員 長谷 基弘
木野下 章
松木 義昭
田原 俊彦

○各常任委員会

下段に掲載

常任委員会委員紹介

総務常任委員会



中島かおり 委



中島 健一 委



長野 良三 委



いとうまい 委員長



田原 俊彦 委



重村啓二郎 委



平野 貞雄 委



山口みさえ 副委員長

民生文教常任委員会



松木 義昭 委



青山 暁 委



寺前 尊文 委



森 しずか 委員長



山村 悦三 員



前田 辰一 員



帰山 和也 副委員長

建設公営企業常任委員会



木野下 章 副委員長



福井美奈子 委員長



徳重 光彦 委



長谷 基弘 員



畑中 俊彦 委



都筑 省三 員



徳田 直彦 員



園長から現状の説明を受ける

民生文教常任委員会が浜風幼稚園を視察
民生文教常任委員会は六月二十四日に委員七名、委員外議員七名の計十四名で、『浜風幼稚園廃園検討』についての協議のあり方に関する請願書の請願項目に基づき、浜風幼稚園の視察を行いました。

園長からの説明と園内の見学を通じて、食育をはじめとした幼稚園の環境、教育の現状に触れることができ、素晴らしい環境の中で子ども達の教育がなされていると実感しました。

今後、地域住民や保護者の声をしっかりと尊重し、長期的な視点を持って検討することが必要であると改めて認識しました。

議員研修会

～これからの防災システム～

去る五月十三日に、議員研修会として神戸市危機管理センターを視察しました。センターには危機管理室、消防局、水道局などが置かれ、あらゆる危機に一体的に対応できるようになっており、消防新管制システムや、危機管理情報システムについての説明を受けました。防災展示も行われており、防災学習の拠点として市民の意識向上に役立っていることがうかがえ、市民との連携を意識した取り組みなどについても学びました。



防災システムの説明を受ける

議

会

ク

イズ

～議会のナゼ？
なに？再発見！～

前回のクイズの解答「議会にはいくつの常任委員会があるでしょうか？」の正解は・・・① 三つでした。
芦屋市議会では平成十五年に議員定数を削減した時にそれまで四つあった常任委員会を三つにして現在に至っています。
第三問 本会議で行われる一般質問の議員一人の質問時間は何分でしょうか？

- ① 六十分
- ② 四十分
- ③ 十五分

正解者の中から抽選で三名の方に図書カード（五百円分）を差し上げます。はがきに住所・氏名・電話番号・解答・感想をお書きの上、芦屋市役所市議会事務局までお送りください。

締め切りは八月二十六日当日消印有効です。正解は、十一月発行予定の市議会だより八十六号で発表します。（個人情報や賞品の発送以外には使用いたしません。）当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



正副議長(当時)による抽選会(5月28日)

編集後記

誌面の刷新によって、ご意見やクイズ応募などいただき、市議会だよりが市民の皆さまと市議会をつなぐ役割が果たせていることに感謝しています。秋には、議会改革の一環として議会報告会も

予定されています。市民の皆さまの多様な意見が反映され、議論の場としての議会、行政のチェック機能として役割が果たせるようにがんばります。（編集委員 森 しずか）

市議会だよりの表紙は市内中学校の部活動の様子が毎回紹介されています。夢や目標に向かって日々努力を重ねている姿に、大人の私たちが励まされます。市議会だより

まで分かりやすく、親しみやすいものにしたと議会報編集委員会で知恵を出し合っています。議会からの一方通行にならないようがんばります。（編集委員 山口 みさえ）

今秋、議会報告会開催決定！！

芦屋市議会では、議会の仕組みや活動を市民の皆さまにより知っていただくために、下記の日程で議会報告会を開催します。事前の申し込みは必要ありません。多数のご参加をお待ちしております。

- 11月5日（火） 13:30～15:00（保健福祉センター 会議室1）
- 11月7日（木） 19:30～21:00（市民センター 203室）
- 11月9日（土） 13:30～15:00（潮芦屋交流センター 201室）

9月定例会日程（予定）

芦屋市議会では、本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会を傍聴することができます。ぜひ一度お越しください。また、本会議はインターネットで生中継もしています。

月	火	水	木	金	土	日
9/2	3	4	5	6	7	8
議会運営委員会	本会議 (提案説明)	建設 公営企業 常任委員会	民生文教 常任委員会	総務 常任委員会		
9	10	11	12	13	14	15
	議会運営 委員会	本会議	本会議	本会議(予備日) 決算 特別委員会		
16	17	18	19	20	21	22
	委員会 (予備日)			議会運営 委員会		
23	24	25	26	27	28	29
	本会議 (決算以外表決)	決算 特別委員会	決算 特別委員会	決算 特別委員会		
30	10/1	2	3	4	5	6
		議会運営 委員会	本会議 (決算表決)			

- 本会議・委員会の開始は、原則午前10時からです。
- 傍聴希望の方は事前に時間をお確かめの上、本会議は市役所南館4階傍聴受付、委員会は市役所南館3階市議会事務局までお越しください。